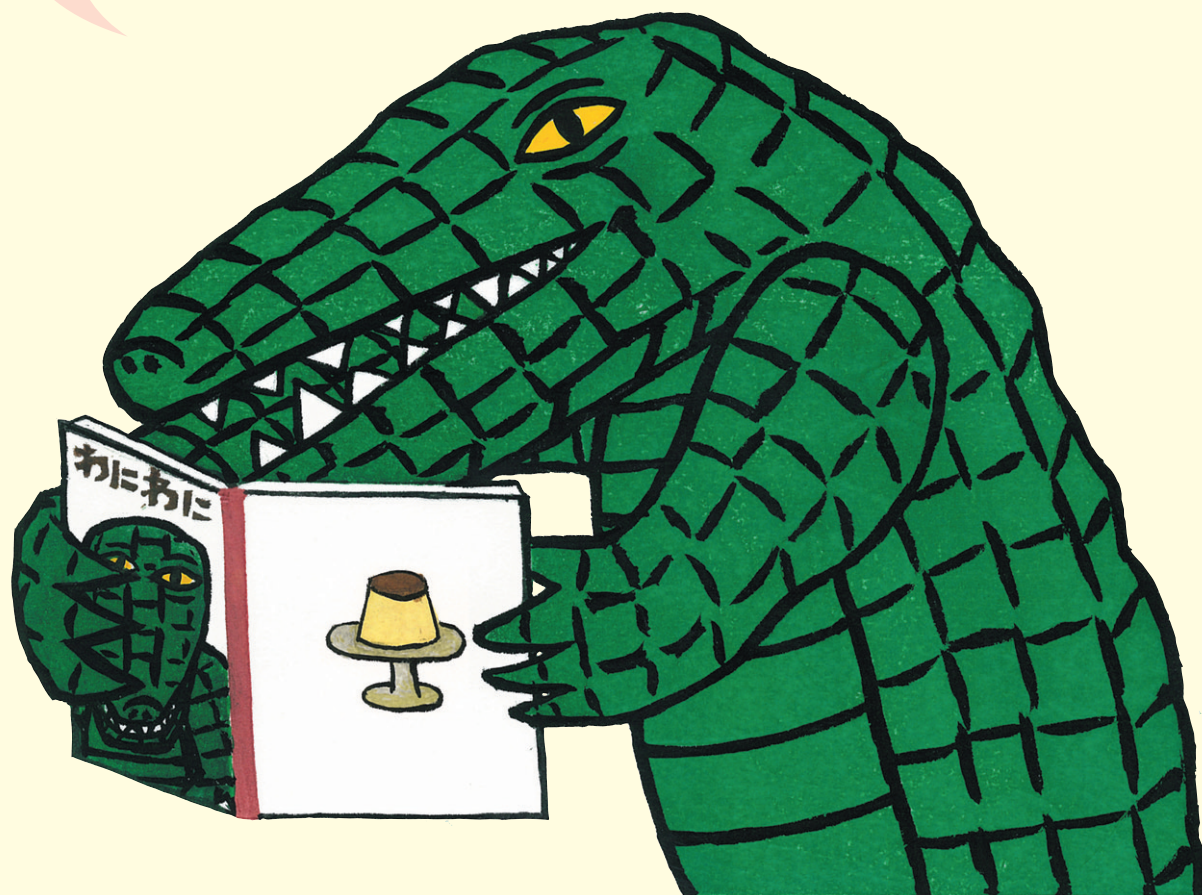


この本、読んだ？

～千葉県図書館発 赤ちゃんから高校生までの104冊～



~~~~~

千葉県内の図書館員が、子どもたちやおうちの方に  
おすすめしたい本を選びました。

絵本で人気の  
“わにわに”も本に夢中！  
絵を描いたひと  
山口マオさん  
千倉（千葉県南房総市）在住のイラスト  
レーター、画家、版画家。  
『わにわにのおふろ』（小風さち文 福音  
館書店）『ふしぎな笛ふき猫』（北村薫文  
教育画劇）ほか多数。

千葉県公共図書館協会  
児童サービス研修委員会・児童奉仕研究委員会

●0～2歳

この本、読んだ？

『ととけっこう よがあげた』



こばやしえみこ 案  
ましませつこ 絵  
こぐま社

「ととけっこう よがあげた…♪」やさしい歌で、寝ている動物たちを起こして歩くのはニワトリさん。最後はみんないっしょに「おはよう」。赤ちゃんの目覚めの時に歌ってあげたい、わらべ歌絵本。

『くだもの』



平山和子 さく  
福音館書店

みずみずしく描かれたくだものが、ひとくちサイズになって「さあ、どうぞ」。思わず手をのばしてしまうほど、おいしそう。写実的な絵とやさしい語りかけが魅力。

『どうぶつのおかあさん』



小森厚 ぶん  
数内正幸 え  
福音館書店

ねこ、らいおん、さるなどの動物のお母さんが子どもたちを運ぶ。温かみのある絵で動物の赤ちゃんとお母さんの触れ合いを描いた、ゆったりとした気持ちになる絵本。

『がたんごとん がたんごとん』



安西水丸 さく  
福音館書店

「がたんごとん がたんごとん」とやってきた汽車に、「のせてくださーい」と乗りこものは、ほにゅうびん。そして、コップやスプーンも次々と…。リズム感のある言葉やくり返しのおはなしが、心と体を弾ませる絵本。

『おつきさまこんばんは』



林明子 さく  
福音館書店

暗くなった空にまん丸いお月さまが顔を出したが、雲が出てきてお月さまを隠した。再び顔を出すお月さま。正面をむいたお月さまの表情とストーリーで赤ちゃんの心をつかむ絵本。

『いないいないばあ』

松谷みよ子 文 瀬川康男 え 童心社

『にんじん』

せなけいこ さく・え 福音館書店

『じゃあじゃあびりびり』

まついのりこ さく 偕成社

『ころころころ』

元永定正 さく・え 福音館書店

『きんぎょが にげた』

五味太郎 作 福音館書店

『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやまけん【ほか著】 こぐま社

●3～5歳

『もこ もこもこ』



たにかわしゅんたろう さく  
もとながさだまさ え  
文研出版

「もこ」や「にょきにょき」という不思議な言葉のリズムと、それにふさわしい絵が子どもの純粋な感覚を刺激する絵本。赤ちゃんから小学生まで幅広く楽しめる。

『くまのコールテンくん』



ドン=フリーマン さく  
まつおかきょうこ やく  
偕成社

デパートのおもちゃ売り場で売れ残っていたくまのコールテンくんは、大冒険の末、お金持ちではないけれどやさしいリサの家へ。暖かい色の絵で、人とのつながりや、穏やかなくらしの大切さを伝える。

『ぐりとぐら』



なかがわりえこ さく  
おおむらゆりこ え  
福音館書店★

いつも仲良しくぐりとぐら。2匹が森を散歩していると大きな卵を発見。お料理好きのぐりとぐら。2匹が力を合わせて何ができるかな？絵本からとってもおいしいそうなおいがしてきそう。子どもの心に残る1冊。

『ちいさなねこ』



石井桃子 さく  
横内襄 え  
福音館書店

おかあさんねこの見ていない間に、こねこが部屋から飛び出した。こどもにつかまりそうになったり、車にひかれそうになったり、大きな犬に追われたりと、ハラハラドキドキのこねこの冒険を描く。小さな子どもの心にそった1冊。

『すてきな三にんぐみ』



トミー=アンゲラー さく  
いまえよしと やく  
偕成社

黒マントに黒い帽子がトレードマークの泥棒三人組。誘拐した女の子に、お宝の使い道を聞かれ、思いついたこととは。前半の泥棒の怖い印象とは違って、後半は心温まる、すてきなお話。

『おおかみと七ひきのこやぎ』



グリム童話  
グリム【著】  
フェリクス・ホフマン え  
せたていじ やく  
福音館書店

お母さんやぎの留守におおかみは七ひきのこやぎをだまし、柱時計の箱に隠れたこやぎを残して丸飲み。お母さんやぎは野原で寝ているおかみを見つけ、おなかをはさみで切ると…。落ち着いた色の絵が魅力。

『だいくとおにろく』



松居直 再話  
赤羽末吉 画  
福音館書店

川に橋を架けることを頼まれた大工。困っていると出てきたのは川に住む鬼。橋を架けるかわりに目玉をよこせと大工に迫る。大工と鬼のやりとりが何とも楽しい。迫力ある絵が魅力的な昔話絵本。

『わたしのワンピース』

にしまさかやこ えとぶん こぐま社

『かぼくん』

岸田杢子 作 中谷千代子 画 福音館書店

『おおきなななび』

A.トルストイ 再話 内田莉紗子 訳 佐藤忠良 画 福音館書店

『三びきのやぎのらがらどん』

マーシャ・ブラウン え せたていじ やく 福音館書店

『ティッチ』

バット・ハッチンス さく・え いいいももこ やく 福音館書店

『てぶくろ』

エウゲーニー・M・ラチョフ え うちだりさこ やく 福音館書店

『ゆうびんやのくまさん』

フィービとセルピ・ウォーントン さく・え まささきりこ やく 福音館書店★

『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ ぶん・え まささきりこ やく 福音館書店★

『どろんこハリー』

マーガレット・ブロー・グレアム え ジーン・ジョン ぶん わたなべしげお やく 福音館書店

『こすずめのぼうけん』

ルース・エインワース さく いいいももこ やく 福音館書店

『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック さく じんぐうてるお やく 富士房

『だるまちゃんとてんぐちゃん』

加古里子 さく・え 福音館書店

『しょうぼうじどうしゃじぶた』

渡辺茂男 さく 山本忠敬 え 福音館書店

『ピーターのいす』

エズラ・ジャック・キーツ ぶん・え きしまはじめ やく 偕成社

『よかったねネッドくん』

レミー・チャールリップ さく やぎたよしこ やく 偕成社

『はじめてのおつかい』

筒井頼子 さく 林明子 え 福音館書店

『めっきらもつきらどおんどん』

長谷川摂子 作 ふりやなな 画 福音館書店

『ふゆめがっしょうだん』

富成忠夫・茂木透 写真 長新太 文 福音館書店



## ●低学年

この本、読んだ？

### 『みどりいろのたね』



たかどのほうこ 作  
太田大八 絵  
福音館書店

えんどう豆のたねといっしょに、みどり色のあめ玉も埋めてしまったまあちゃん。土の中でたねたちとあめ玉がけんかをはじめて…。たねたちV.S.メロンあめ!土の中の丁々発止(ちょうちようはっし)の攻防戦には、思わず笑ってしまう。

### 『きえた犬のえ(ぼくはめいたんてい1)』



マージョリー・W・シャーマット ぶん  
マーク・シマント え  
光吉夏弥 やく  
大日本図書★

探偵(たんてい)のネートは、友達のアニーから自分がかいた「犬の絵」をさがしてほしいと頼まれる。きえた犬の絵をみつけるため、小さなヒントから事件を解決していくネート。謎解きの面白さも楽しめる作品。

### 『おおきくなりすぎたくま』



リンド・ワード 文・画  
渡辺茂男 訳  
ほるぷ出版

ジョニーは森でこぐまを見つけて家に連れて帰るが、こぐまは大きくなり畑や納屋を荒らすようになった。そこでジョニーはくまを森に帰そうとする。ジョニーとくまの交流を描いた心温まる絵本。

### 『王さまと九人のきょうだい』



赤羽末吉 絵  
君島久子 訳  
岩波書店

悪い王さまの出す難題を、九人の兄弟がそれぞれの長所をいかして乗り切り、王さまをこらしめる物語。  
9回の繰り返しが子どもに喜ばれる中国の民話絵本。

### 『エルマーのぼうけん』



ルース・スタイルス・ガネット さく  
わたなべしげお やく  
福音館書店★

どうぶつ島へと冒険の旅に出たエルマーは、知恵を使って、トラやライオンなど恐ろしい猛獣を出しぬき、とらわれのリゆうを助け出す。半世紀近く読み継がれる幼年童話。

### 『ちいさいおうち』



ばーじにあーりー・ばーとん ぶん  
えいしーもこ やく  
岩波書店

小さいおうちは、自然に恵まれた田舎の静かな丘で幸せな時を過ごしていたが、次第に周りは大都会になっていく。考え抜かれた構図と美しい色調で、小さいおうちの気持ちとともに時の流れが感じ取れる絵本。

### 『ペレのあたらしいふく』

エルサ・ベスコフ さく・え おのでらゆりこ やく 福音館書店

### 『こいぬがうまれるよ』

ジョアンナ・コール 文 ジェローム・ウェクスラー 写真 つばいいくみ 訳 福音館書店

### 『あおい目のねこ』

エゴン・マッサーセン さく・え せたていじ やく 福音館書店

### 『おいしいのぼうけん』

ふるたたるひ、たばたせいいち さく 童心社

### 『ひとまねこざるときいろいろぼうし』

H.A.レイ 文・絵 光吉夏弥 訳 岩波書店★

### 『たんぼぼ』

平山和子 ぶん・え 福音館書店

### 『ピーナッツ なんきんまめ らっかせい』

こうやすすむ 文 中島睦子 絵 福音館書店

### 『すずめのくつした』

ジョージ・セルデン ぶん 光吉郁子 やく 大日本図書

### 『番ねずみのヤカちゃん』

リチャード・ウィルバー さく 松岡享子 やく 大社玲子 え 福音館書店

### 『はじめてのキャンプ』

林明子 さく・え 福音館書店

### 『なぞなぞのすきな女の子』

松岡享子 さく 大社玲子 え 学習研究社

### 『ロバのシルベスターとまほうの小石』

ウィリアム・スタイグ さく せたていじ やく 評論社

### 『子どもに語る日本の昔話』

稲田和子、筒井悦子 著 こぐま社★

## ●中学年

### 『版画のはらうた』



くどうなおこと  
のはらみん 詩  
ほてはまたかし 画  
童話屋★

野原の小さな生き物たちの思いを詩にした本。版画の文字と挿画は、絵と言葉が一体となりダイナミックな詩の世界を表現している。彼らの個性が光る、生きる喜びにあふれた様々な詩は、ぜひ声に出して楽しんでほしい。

### 『ものぐさトミー』



ベーン・デュボア  
文・絵  
松岡享子 訳  
岩波書店

トミー・ナマケンボの家は電気じかけ。ただ立っているだけで、機械がなんでもやってくれる。ある日嵐がやってきて電気が止まったらさあ大変!抱腹絶倒のおはなし。

### 『大どろぼうホッツェンプロッツ』



オトフリート＝  
プロイスラー 作  
中村浩三 訳  
偕成社★

おばあさんの大事なコーヒーひきを盗んだ大泥棒を、孫のカスパールと友人のゼップが追跡。魔法使いや妖精も登場し、少年たちが知恵を絞って大泥棒と渡り合う。テンポが速く、ユーモアたっぷりの冒険物語。

### 『小さなスプーンおばさん』



アルフ・ブヨイセン 著  
大塚勇三 訳  
学習研究社★

ある朝、おばさんが目を覚ますと、ティースプーンくらいに小さくなっていた。スプーンおばさんは頭を働かせ、時には小さな体を利用してユーモラスに困難を乗り越えていく。

### 『火曜日のごちそうはヒキガエル』



ラッセル・E・  
エリクソン 作  
佐藤涼子 訳  
評論社★

ミミズクにつかまってしまったヒキガエルのウォートン。自分が誕生日の日のごちそうだと知り、逃げ出す計画を立てるが…。心やさしいヒキガエルと、ひとりぼっちのミミズクとの心の交流を描く。

### 『がんばれヘンリーくん』



ベバリー・  
クリアー 作  
松岡享子 訳  
学習研究社★

ヘンリーくんは小学3年生の男の子。ある日ひろった、がりがりのやせ犬アバラーといっしょに、次々にゆかいな事件をまきおこす。子どもたちの日常を生き生きと描いた楽しいお話。

### 『スーホの白い馬』

大塚勇三 再話 赤羽末吉 画 福音館書店

### 『時計つくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ 作 あべきこ 訳 こぐま社

### 『セロひきのゴージュ』

宮沢賢治 作 茂田井武 画 福音館書店

### 『ぼくは王さま』

寺村輝夫 作 理論社

### 『ポリーとはらぺこオオカミ』

キャサリン・ストー 作 掛川恭子 訳 岩波書店★

### 『百まいのドレス』

エレナー・エスティス 作 石井桃子 訳 岩波書店

### 『長くつ下のピッピー 世界一つよい女の子』

リンドグレーン 作 大塚勇三 訳 岩波書店★

### 『くまのパティントン』

マイケル・ボンド 作 松岡享子 訳 福音館書店★

### 『ゆかいなホームーくん』

ロバート・マックロスキー 文・絵 石井桃子 訳 岩波書店

### 『イギリスとアイルランドの昔話』

石井桃子 編・訳 福音館書店

## ● 高学年

この本、読んだ？

### 『だれも知らない小さな国 (コロボックル物語1)』



佐藤さとる 作  
講談社★

小学3年生の頃、秘密の遊び場で見かけた小指くらいの小さな人。時が過ぎ、またそこを訪れたことで、僕は彼らと再会する。もしかしたらコロボックルがそばにいるかもしれない、そんな気がするようなファンタジー。

### 『絵で読む広島原爆』



那須正幹 文  
西村繁男 絵  
福音館書店

人類最初の原子爆弾が投下された広島を、生き残った人々の証言をもとに描いた絵本。原爆がなぜ作られ、なぜ広島に投下されたのか、わかりやすく解説されている。被爆後50年間の核に関するできごとまとめられている。

### 『シャーロットのおくりもの』



E.B.ホワイト 作  
さくまゆみこ 訳  
あすなろ書房

子ブタのウィルバーは、小さく生まれて殺されそうになったところを農場の娘のファーンに助けられたが、次は、ハムにされてしまうことに。今度は、友達のクモのシャーロットが奇跡を起こして救ってくれる。生命と友情の物語。

### 『ライオンと魔女 (ナルニア国ものがたり1)』



C.S.ルイス 作  
瀬田貞二 訳  
岩波書店★

戦争をさけるために田舎へ預けられた4人の兄妹は、古いタンスのむこうの不思議な国ナルニアに入り込んでしまう。恐ろしい白い魔女に支配された国を取り戻すため、真の王アスランとともに戦う4人の冒険物語。

### 『冒険者たち ガンバと15匹の仲間』



斎藤惇夫 作  
岩波書店★

ドブネズミのガンバは島ネズミを苦しめるイタチのノロイ族と戦うため、15匹の仲間と夢見が島に向かう。仲間同士助け合い、知恵と勇気をふりしぼって困難を1つ1つのりこえていく。

### 『クローディアの秘密』



E.L.カニグスバーク 作  
松永ふみ子 訳  
岩波書店

毎日が退屈で、長女は損ばかり。嫌気がさした11歳のクローディアは、弟を誘って家出をし、メトロポリタン美術館の中にかくれ住んだ。今と違った新しい自分になりたいという願いを胸に、あるなぞ解きに夢中になる。

### 『わらしべ長者 日本民話選』

木下順二 作 岩波書店

### 『ルドルフとイッパイアッテナ』

斉藤洋 作 講談社★

### 『魔女の宅急便』

角野栄子 作 福音館書店★

### 『モモ』

ミハエル・エンデ 作 大島かおり 訳 岩波書店

### 『二分間の冒険』

岡田淳 著 偕成社

### 『ふたりのロッテ』

ケストナー 作 高橋健二 訳 岩波書店

### 『魔法使いのチョコレート・ケーキ』

マーガレット・マーヒー [作] 石井桃子 訳 福音館書店

### 『チョコレート工場の秘密』

ロアルド・ダール 作 柳瀬尚紀 訳 評論社

### 『トムは真夜中の庭で』

フィリパ・ピマス 作 高杉一郎 訳 岩波書店

### 『アラスカたんけん記』

星野道夫 文・写真 福音館書店

### 『二年間の休暇』

J・ベルヌ 作 朝倉剛 訳 福音館書店

## ● 中学生・高校生

### 『精霊の守り人』



上橋菜穂子 作  
偕成社★

名用心棒として知られた女剣士〈短槍(たんそう)使いのバルサ〉。偶然から新ヨゴ皇国第二皇子の身を預かるが、皇子は〈精霊の守り人〉のさだめを負っていた。8人の命を救うという“誓い”をたてたバルサの運命を描く壮大なファンタジー。

### 『あのころはフリードリヒがいた』



ハンス・ペーター・リヒター 作  
上田真而子 訳  
岩波書店

「ぼく」と1週間違いで生まれた「フリードリヒ」とは幼なじみだった。ただひとつ、ぼくはドイツ人でフリードリヒはユダヤ人だったことが、悲劇の始まりだった。戦争を知るためにぜひ読んでおきたい作品。

### 『影との戦い (ゲド戦記1)』



ル＝グウィン 作  
清水真砂子 訳  
岩波書店★

魔法を学ぶ学院で修行中のゲドは、ライバルに自分の力を見せつきたいと望む。魔法の力の試し合いで「呼び出しの呪文」を使い、死者の霊を呼び出し、影を放ってしまう。ゲドはその影に追われ、戦うことになる。

### 『ともしびをかかえて 上・下』



ローズマリ・サトクリフ 作  
猪熊葉子 訳  
岩波書店★

ローマ帝国が衰退し、サクソン人によって侵略されたある村で、地方軍団の指揮官アクイラは軍引き上げの時脱走し故郷の村を守ることを決意する。敵の奴隷となっても強い意志を貫いて闘うアクイラの生きざまを描く。

### 『いのちの食べかた』



森達也 著  
イーストプレス

スーパーでまるごとの魚は売っていても、まるごとの牛や豚は売っていないのはどうして？ 生きている牛や豚が肉となり食卓にのぼるまでの間とその周りにある「知らないこと」から、いのちや生きることを考えてみよう。

### 『夏の庭 The Friends』

湯本香樹実 作 徳間書店 (新潮社もあり)

### 『西の魔女が死んだ』

梨木香歩 著 新潮社

### 『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ 作 内藤濯 訳 岩波書店

### 『エンデュランス号大漂流』

エリザベス・コーディー・キメル 著 千葉茂樹 訳 あすなろ書房

### 『クラブアート』

オトフリート＝フロイスラー 作 中村浩三 訳 偕成社

### 『アンネの日記』

アンネ・フランク 著 深町眞理子 訳 文藝春秋

### 『空色勾玉』

荻原規子 作 徳間書店★

### 『指輪物語』

J.R.R.トールキン 著 瀬田貞二・田中明子 訳 評論社★

### 『素数ゼミの謎』

吉村仁 著 文藝春秋

### 『夜のピクニック』

恩田陸 著 新潮社

### 『科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集』

池内了 編 岩波書店

- ・日ごろ、読み聞かせや子どもたちとのやりとりの中で紹介している本のうち、入手しやすいものを、県内の図書館へのアンケートに基づいて選びました。
- ・対象年齢は目安です。0歳から小学校中学年まではまわりの大人の方に向けて紹介しています。小学校低学年は、自分で読む本と大人に読んでもらう本とがあります。
- ・シリーズや続編もおすすめしたい作品には、出版社名に★をつけました。

・千葉県公共図書館協会は図書館活動の振興を図る団体で、千葉県内すべての市町村が加盟しています。  
編集：千葉県公共図書館協会 児童サービス研修委員会・児童奉仕研究委員会